

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>


注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- くぼ地や冠水しやすい場所、傾斜地へは施工しないでください。浸水によるショートや不点灯の原因になります。


ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 前もって設置場所の確認を行なってください。給湯機、暖房器などの排気熱が製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

<施工上のご注意>


注意

- ボルトまたはネジは弊社純正品または指定品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 端部キャップは取付指示に従って接着してください。従わないとLEDラインの交換時に破損やLEDラインの交換が出来ない原因となります。

<施工上のご注意 つづき>

ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全带、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- LEDラインはR50mm以上の曲げを行うと基盤とLEDの接点に不具合を生じ、不点灯の原因となりますので、絶対に曲げすぎないでください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。

<コンクリート塀、ブロック塀への施工について>

注意

- 壁・塀の材料や種類により取付強度が異なります。コンクリートブロックC種（JIS A 5406 16）以上で施工してください。またブロックの空洞部には予めモルタルで養生を行い取付強度を確保してください。従わないと製品の落下原因となります。
- 取付用の下穴、ネジサイズはプラグメーカーの規定に従ってください。従わないと製品の落下原因となります。

ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- コンクリート塀、ブロック塀の取付け面は、下地強度と平らさを確保してください。豆板や塗り材などで著しい凹凸があると取付け出来なくなる場合があります。

<基礎工事について>

警告

- 本製品には専用のトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。AC100Vを直接接続すると破損や火災の原因になります。

注意

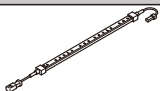
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。

ポイント

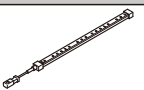

- トランス電源ユニットの設置方法および取扱い方法は、別途トランス電源ユニット取扱説明書を参照してください。
- 電源ケーブルの埋設管は現場で別途手配してください。長さについては「2. 配線と基礎施工」を参照してください。
- トランスの電源には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないと、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。

梱包明細表



【1】LEDライン 連結用

名 称	略 図	員 数
LED連結用		1

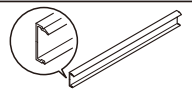
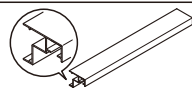
【2】LEDライン 端部用

名 称	略 図	員 数
LED端部用		1
エンドキャップ		1



【3】LEDライン部品

名 称	略 図	員 数
LEDホルダー		40
接着剤		1
取付説明書〈E333〉	—	1
取扱説明書〈UE088〉	—	1

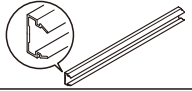
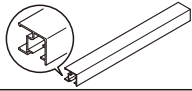
【4】LED配光枠 角面材15×40

名 称	略 図	員 数
ベース材		1
カバー材		1


【5】LED配光枠 角面材用キャップ15×40

名 称	略 図	員 数
端部キャップL		1
端部キャップR		1

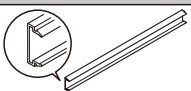
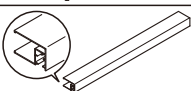
【6】LED配光枠 角面材20×30

名 称	略 図	員 数
ベース材		1
カバー材		1


【7】LED配光枠 角面材用キャップ20×30

名 称	略 図	員 数
端部キャップ		2

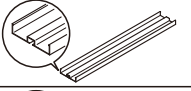
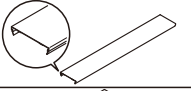

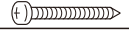
【8】LED配光枠 角面材30×55

名 称	略 図	員 数
ベース材		1
カバー材		1


【9】LED配光枠 角面材用キャップ30×55

名 称	略 図	員 数
端部キャップ		2

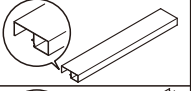
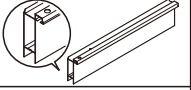
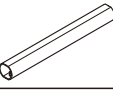

【10】LED配光枠 壁面材25×85

名 称	略 図	員 数
ベース材		1
カバー材		1
面材スペーサー		3
【10-1】φ5×60アンカーネジ		6


【11】LED配光枠 壁面材用キャップ

名 称	略 図	員 数
端部キャップ		2

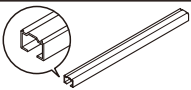

【12】LED配光枠 裾角材

名 称	略 図	員 数	
		L20	L40
ベース材		1	1
カバー材		1	1
埋込み支柱		2	3
【12-1】φ4×15ナベタッピンネジ2種		2	3

【13】LED配光枠 裾角材用キャップ

名 称	略 図	員 数
端部キャップL		1
端部キャップR		1

【14】LED配光枠 取付ベース

名 称	略 図	員 数
ベース材		1
取付金具		2

1. 基本寸法と各部の名称

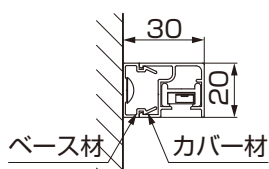
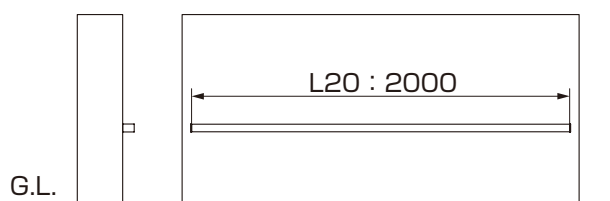


図1-1 角面材20×30

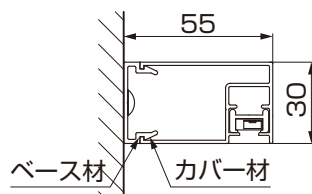
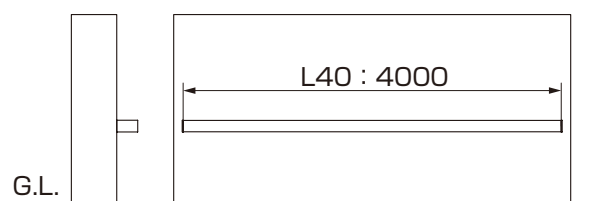


図1-2 角面材30×55

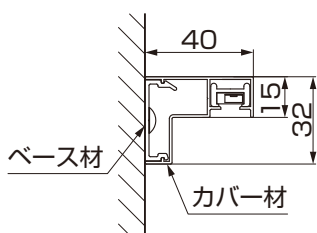
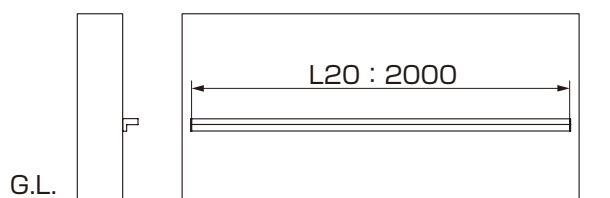


図1-3 角面材15×40

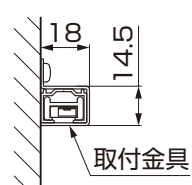
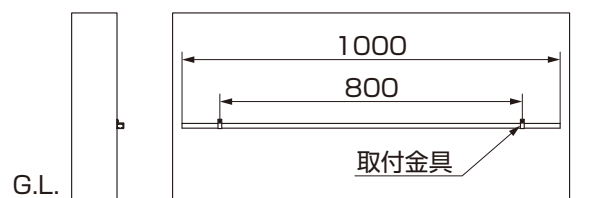


図1-4 取付ベース

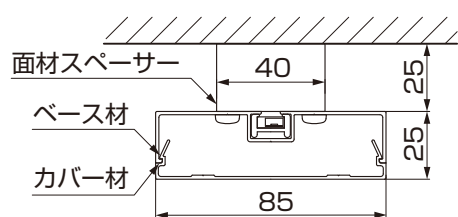
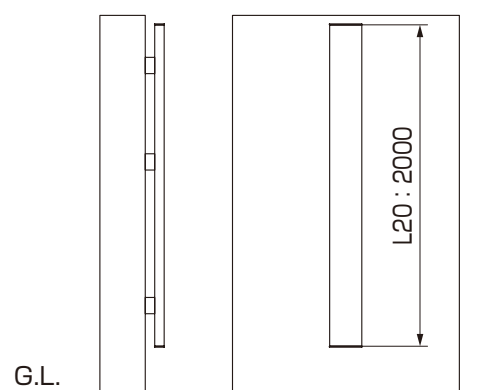


図1-5 壁面材25×85

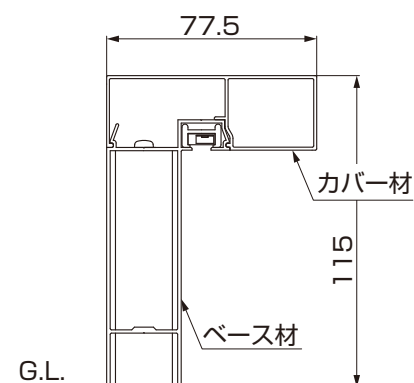
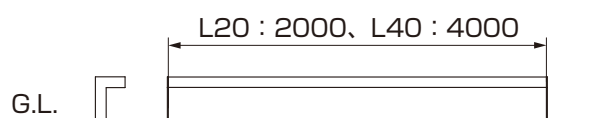


図1-6 裾角材

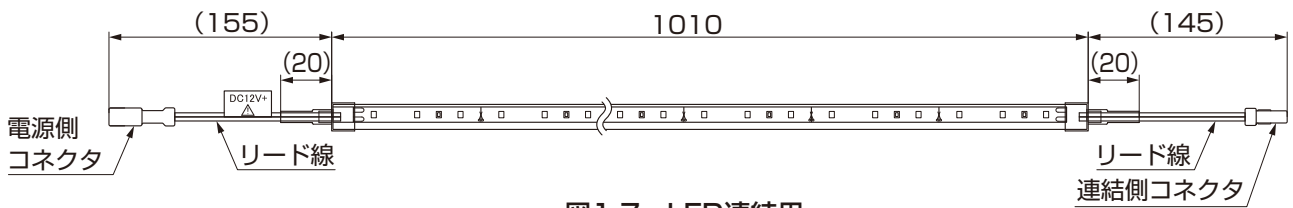


図1-7 LED連結用

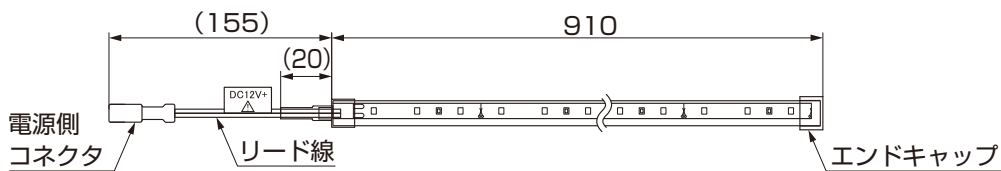
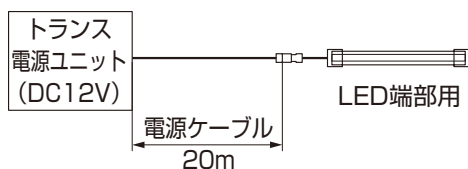


図1-8 LED端部用

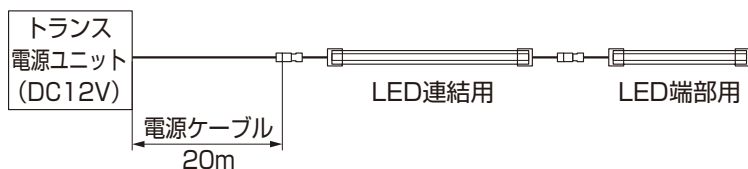
2. 配線と基礎施工

2-1 配線例（模式図）

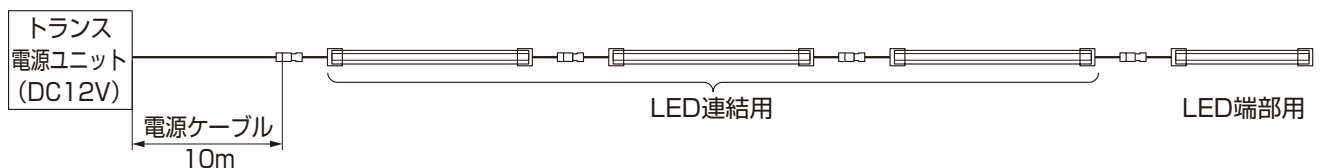
[LEDライン1灯：取付けベースを施工の場合]



[LEDライン2灯：角面材15×40、20×30、壁面材25×85 (L20)、裾角材 (L20) を施工の場合]



[LEDライン4灯：角面材30×55、裾角材 (L40) を施工の場合]

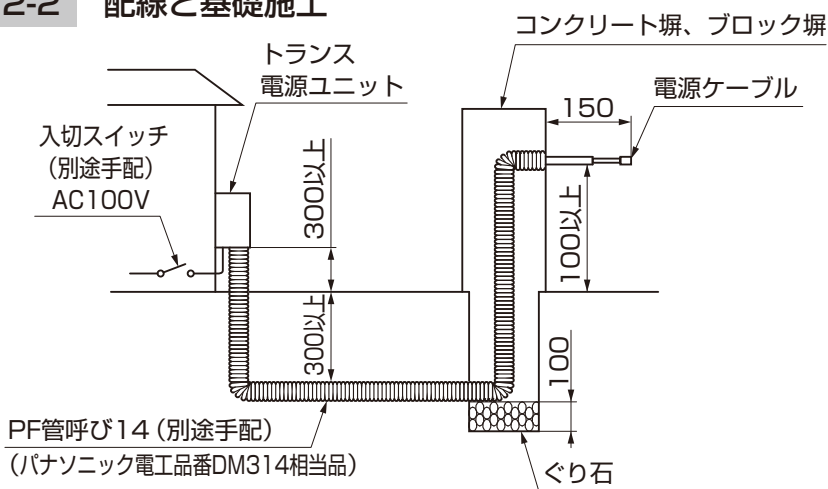


ポイント

- 電源ケーブルの許容範囲内で配線をしてください。許容範囲を超えると照度が低下します。

2. (つづき)

2-2 配線と基礎施工



- ①基礎穴を掘り、基礎下にぐり石を敷いてください。
- ②配線配管をしてください。

補足

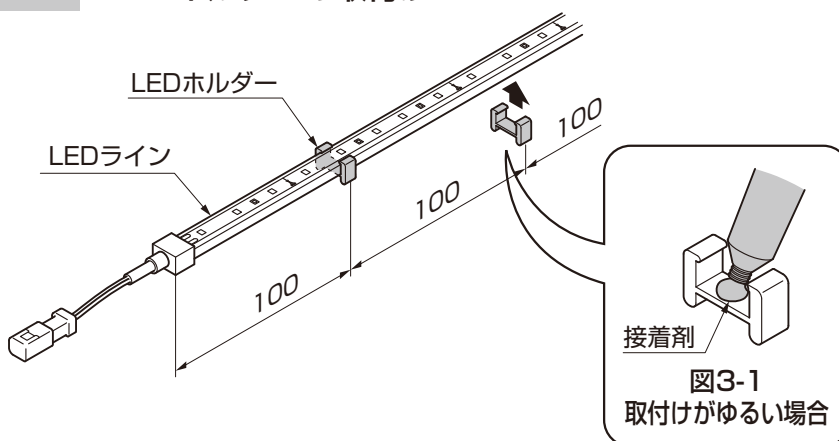
- 配線配管は各ベース材の電源線引込み穴の位置を確認してから行なってください。(「4.部材の加工」参照)

ポイント

- PF管は切り落とし、水が侵入しないように養生してください。

3. LEDライン 部品の取付け

3-1 LEDホルダーの取付け



- ①LEDホルダーをLEDラインに取付けてください。

ポイント

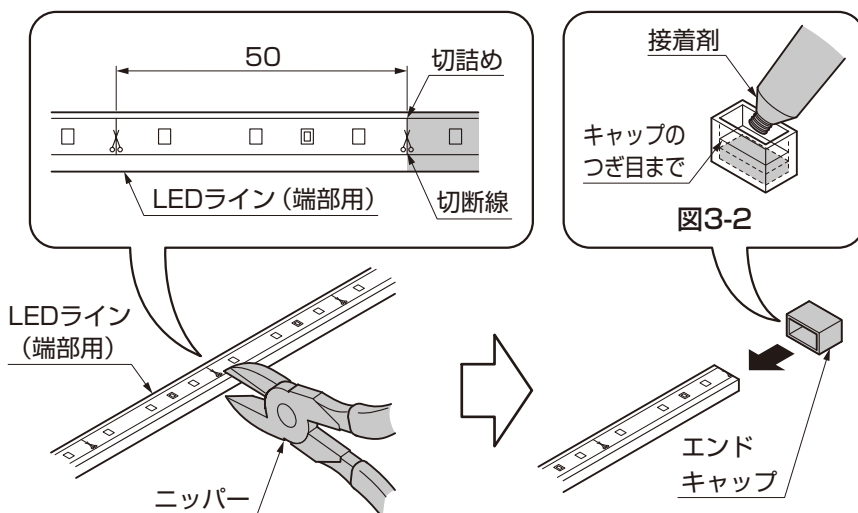
- 取付けがゆるい場合は、LEDホルダーに少量の接着剤をつけて取付けてください。(図3-1参照)
- 硬化時間は付属の説明書きを参照ください。

補足

- 付属の接着剤または、セメダインスーパーXGを使用ください。(使用有効期限：未開封で製造日より2年以内)

3-2 LEDライン (端部用) の切詰めとエンドキャップの取付け

※L20、L40、サイズ切詰めの場合の作業です。



- ①施工する配光枠の長さにあわせて、LEDライン (端部用) をニッパーで切詰めてください。

ポイント

- 切詰めは、切断線または切断線から50mmの位置で行なってください。

- ②エンドキャップを切断箇所に接着剤で取付けてください。

ポイント

- 防水性を高めるため、エンドキャップ取付け後、1～2時間乾燥させてください。(図3-2参照)
- 硬化時間は、付属の説明書きを参照ください。

4. 部材の加工

4-1 角面材を施工の場合

(1) 取付穴加工

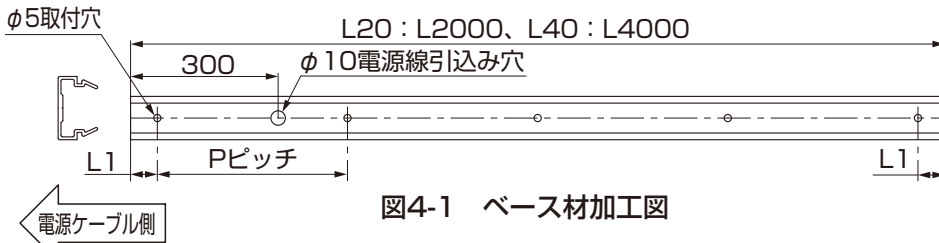


図4-1 ベース材加工図

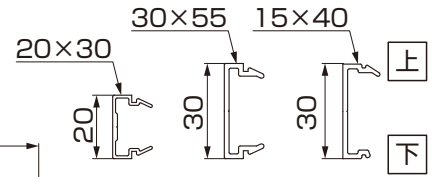


図4-2 ベース材種類

表4-1

	L1	P	穴数
L20	30	485	5
L40	40	490	9

①ベース材にφ5取付穴とφ10電源線引込み穴の加工をしてください。

ポイント

- ベース材の取付け向き（上下、電源ケーブルの方向）を確認の上、加工をしてください。
- 図X-Xは20×30を示します。30×55、15×40も同様の加工となります。
- 加工バリや切粉は取除いてください。

(2) 水抜き穴加工 ※図は外観左側を示します。外観右側も左右対称の加工をしてください。

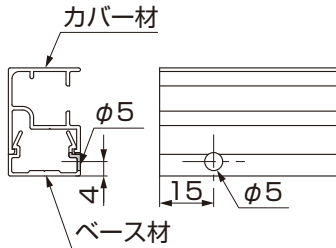


図4-3 20×30

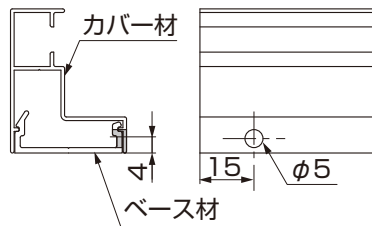


図4-4 15×40

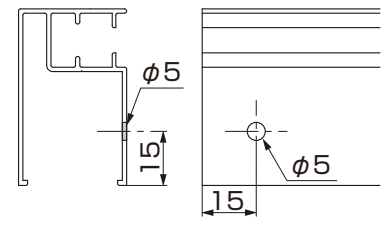


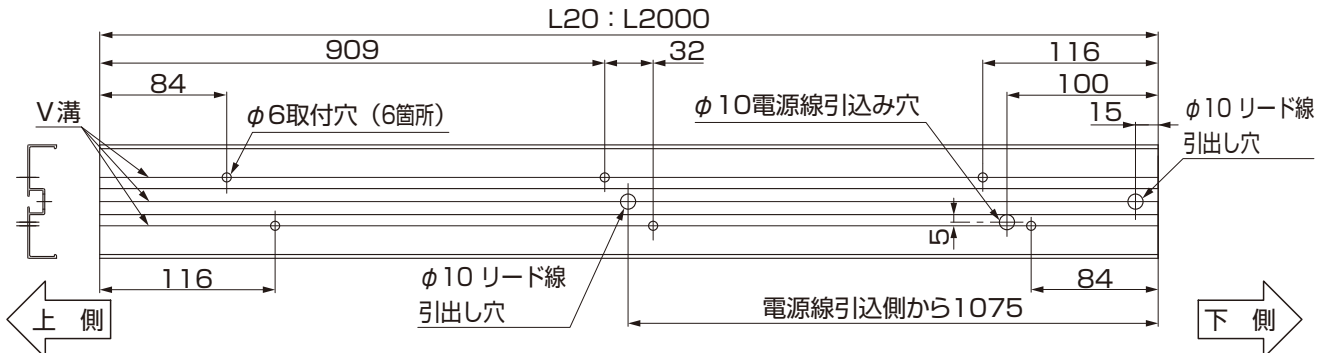
図4-5 30×55

①カバー材、ベース材にφ5水抜き穴加工をしてください。

ポイント

- 角面材20×30、15×40の場合、カバー材とベース材をはめ合わせた状態で加工をしてください。加工後ベース材は、横にスライドして取外してください。
- 水抜き穴は所定の箇所へ必ずあけてください。
- 加工バリや切粉は取除いてください。

4-2 壁面材を施工の場合



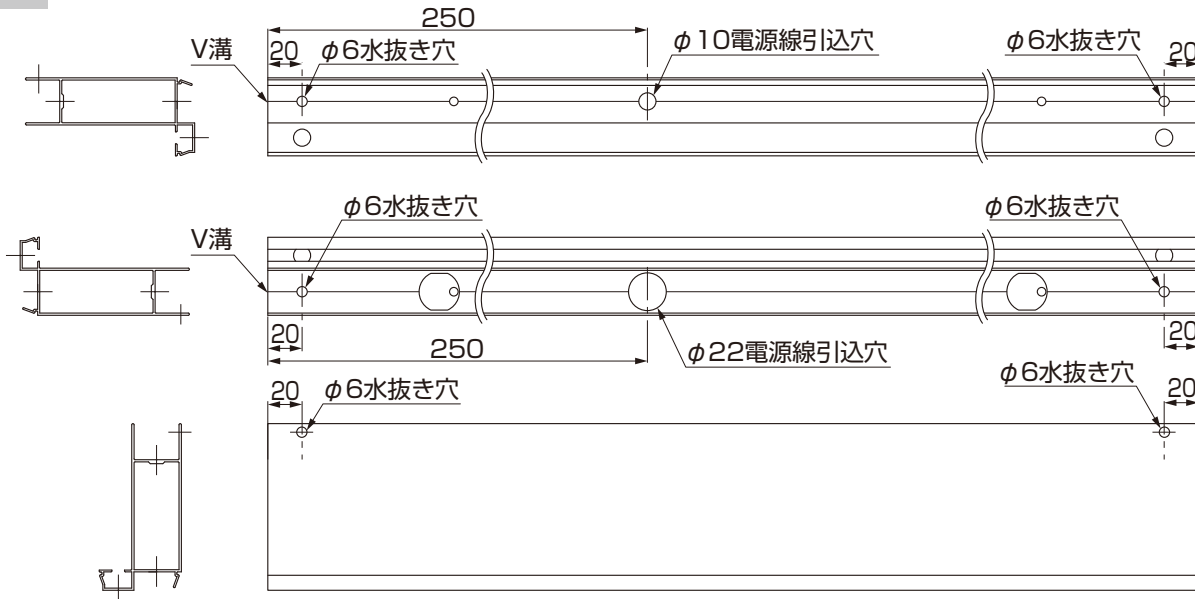
①ベース材にφ6取付穴、φ10電源線引込み穴、φ10リード線引出し穴の加工をしてください。

ポイント

- 加工バリや切粉は取除いてください。

4. (つづき)

4-3 裾角材を施工の場合



①ベース材にφ6水抜き穴とφ10、φ22電源引込穴の加工をしてください。

ポイント

- 水抜き穴は所定の箇所へ必ずあけてください。
- 加工バリや切粉は取除いてください。

5. LEDラインの取付け

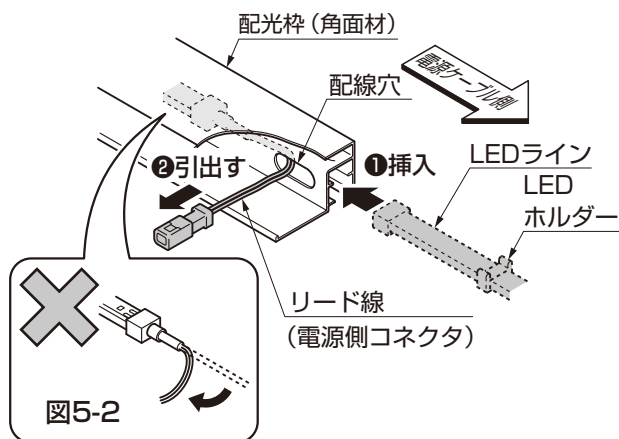


図5-1 LEDラインの取付け

①LEDラインを各配光枠に挿入し、配線穴からリード線を引出してください。

補足

- 挿入の向きは、電源ケーブルの引込み側にLEDラインの電源側コネクタがくるようにしてください。
- 配線穴にLEDホルダーが引っ掛からないようにしてください。

②連結する場合、LEDライン(端部用)と(連結用)のリード線のコネクタを接続してください。

ポイント

- コネクタ、リード線は引っ張ったり、付根から折曲げないでください。断線・接触不良の原因になります。(図5-2参照)
- 角面材20×30、15×40の場合、連結した配線を図5-4の■に納めて、養生テープで止めてください。

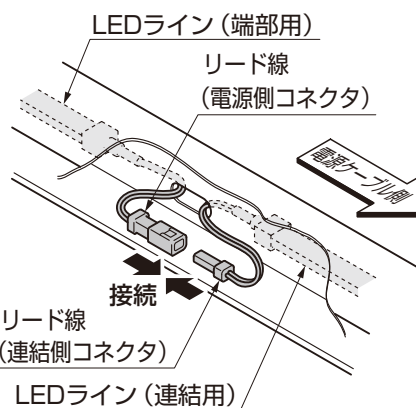


図5-3 LEDラインを連結する場合

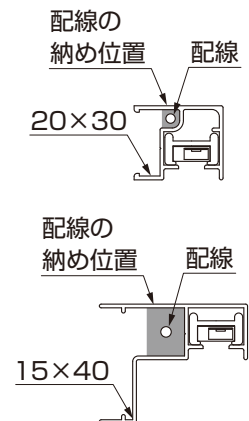
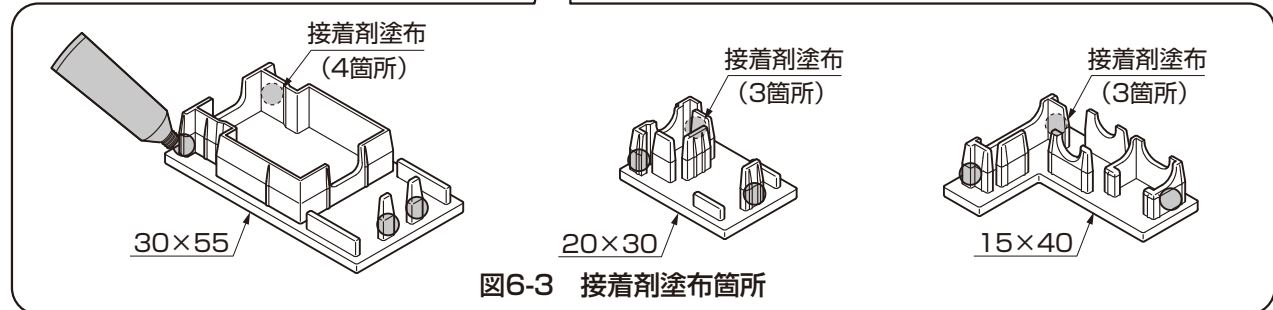
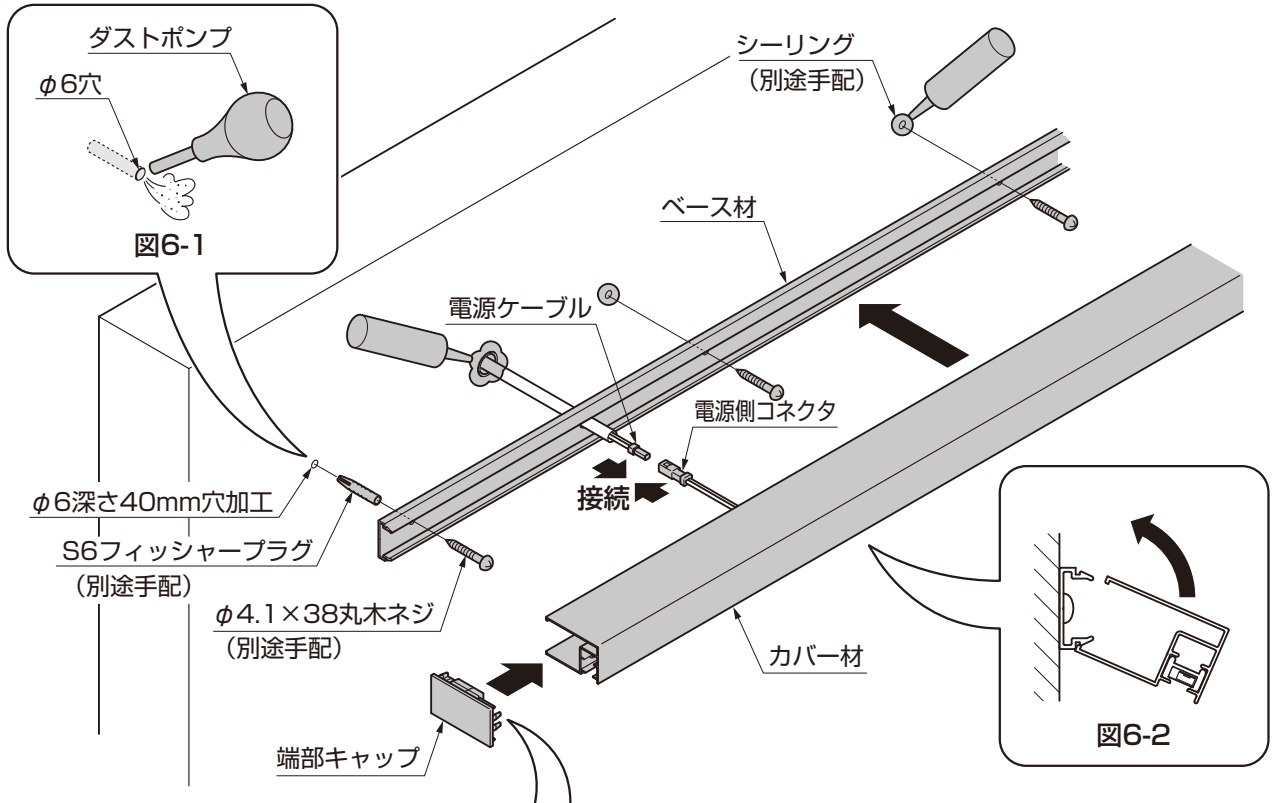


図5-4

6. 配光枠の取付け

6-1 角面材を施工の場合

※図は角面材30×55を示します。
角面材20×30、15×40も同様に取付けてください。



ポイント

●取付ネジ類は下地に合わせて、別途手配してください。

①ベース材を壁に水平に当てがい、穴位置をけがき、φ6深さ40mmの穴加工をしてください。

ポイント

●穴径、深さを必ず守ってください。

●穴加工後、市販のダストポンプなどで穴内の掃除をしてください。(図6-1参照)

②φ6の穴に「S6フィッシャープラグ(別途手配)」を取付けてください。

③φ6の穴と電源引込み穴にシーリング処理をしてください。

④電源ケーブルをベース材に通し、壁に「φ4.1×38丸木ネジ(別途手配)」で取付けてください。

⑤電源ケーブルとLEDラインの電源側コネクタを接続して、カバー材を取付けてください。(図6-2参照)

ポイント

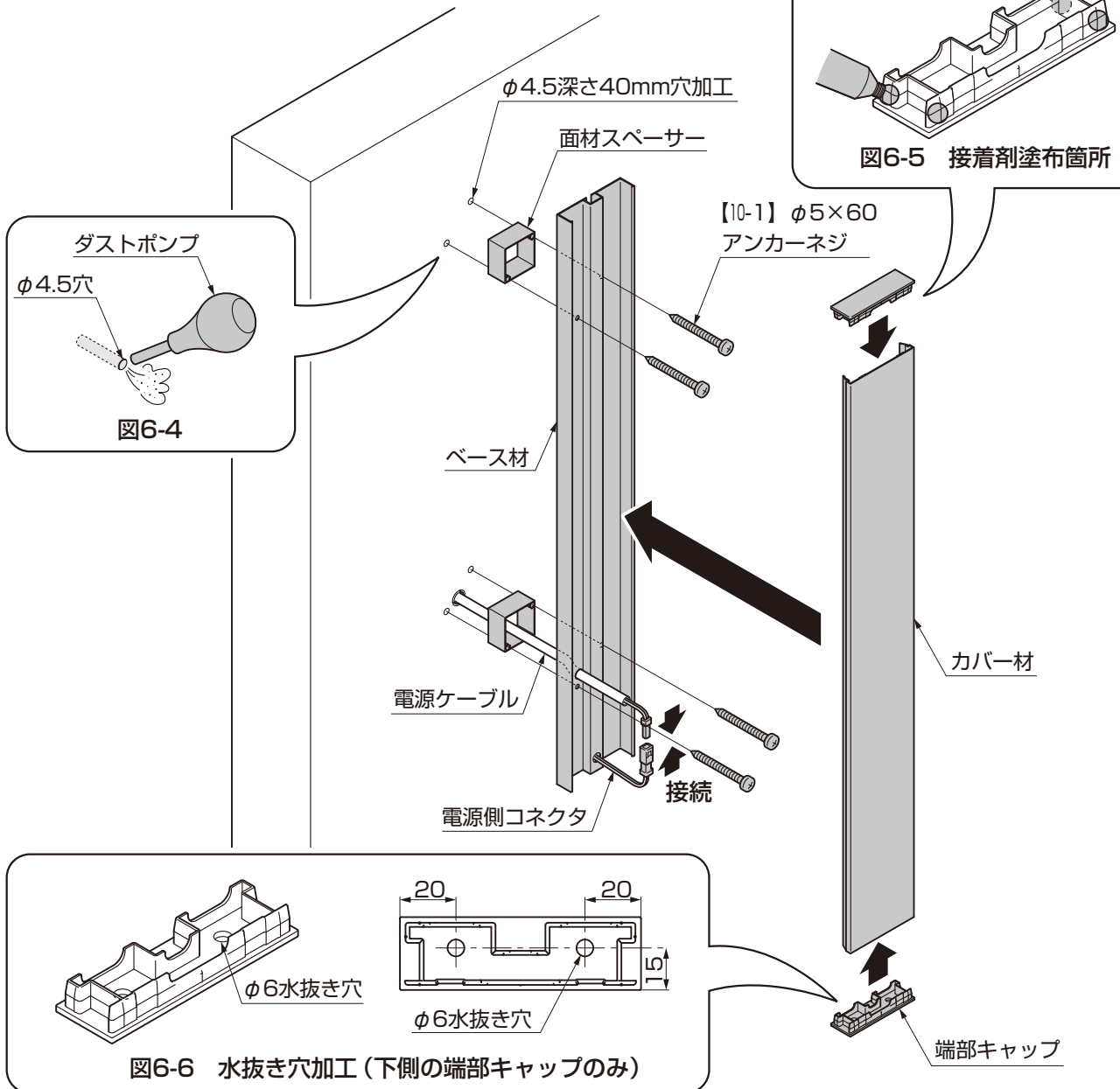
●カバー材取付の前に、ネジの締付けと照明の点灯確認をしてください。

●配線を挟み込まないようにカバー材を取付けてください。

⑥端部キャップを接着剤で取付けてください。

6. (つづき)

6-2 壁面材を施工の場合



- ①ベース材を壁に当てがい、穴位置をけがき、φ4.5深さ40mmの穴加工をしてください。

ポイント

- 穴径、深さを必ず守ってください。
- 穴加工後、市販のダストポンプなどで穴内の掃除をしてください。(図6-4参照)

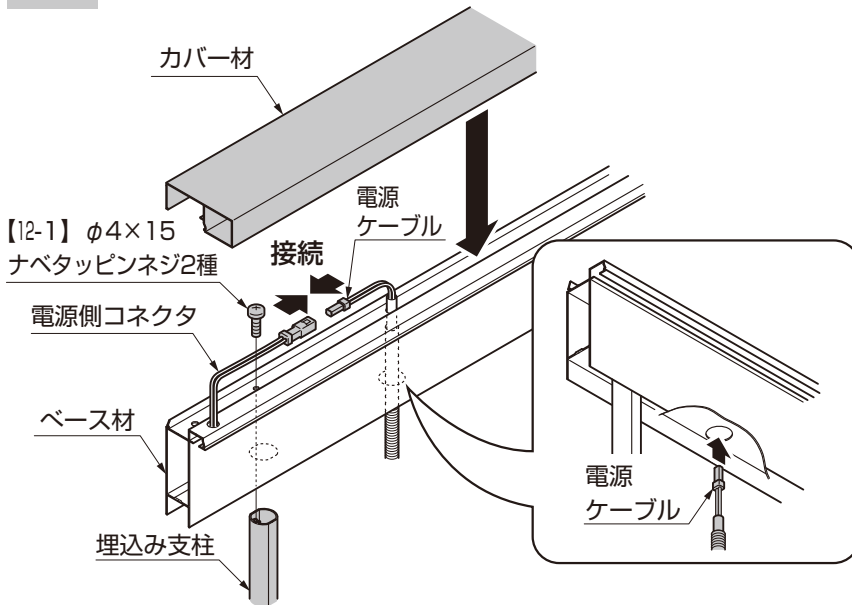
- ②電源ケーブルを面材スペーサーとベース材に通し、壁に【10-1】で取付けてください。
③電源ケーブルとLEDラインの電源側コネクタを接続して、カバー材を取付けてください。

ポイント

- カバー材取付の前に、ネジの締付けと照明の点灯確認をしてください。
- 配線を挟み込まないようにカバー材を取付けてください。

- ④下側に取付ける端部キャップにφ6の水抜き穴加工をしてください。
⑤端部キャップを接着剤で取付けてください。

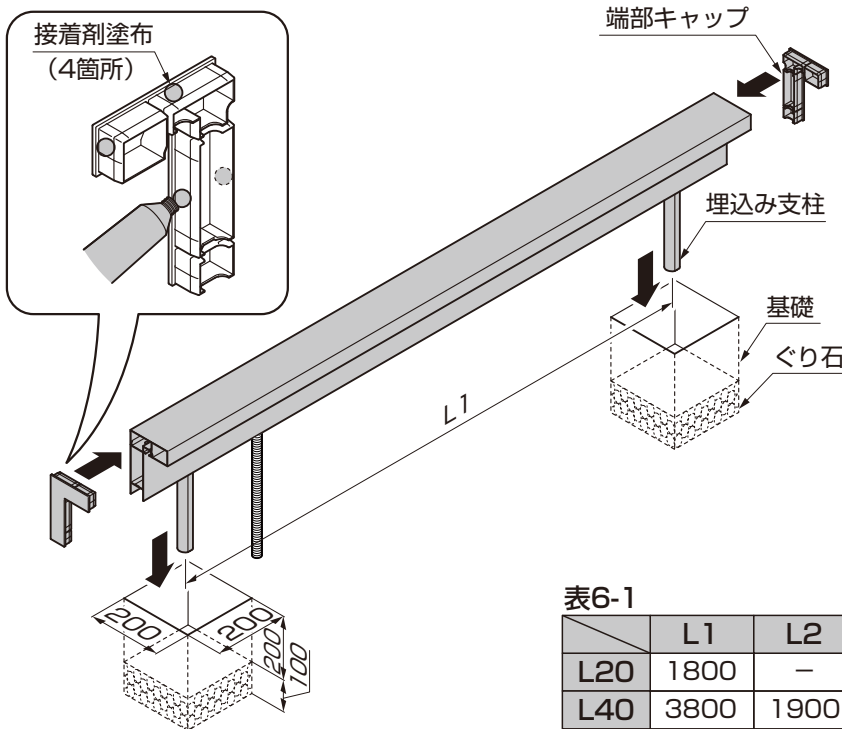
6-3 裾角材を施工の場合



- ①埋込み支柱をベース材に【12-1】で取付けてください。
- ②電源ケーブルをベース材に通してください。
- ③電源ケーブルとLEDラインの電源側コネクタを接続して、カバー材を取付けてください。

ポイント

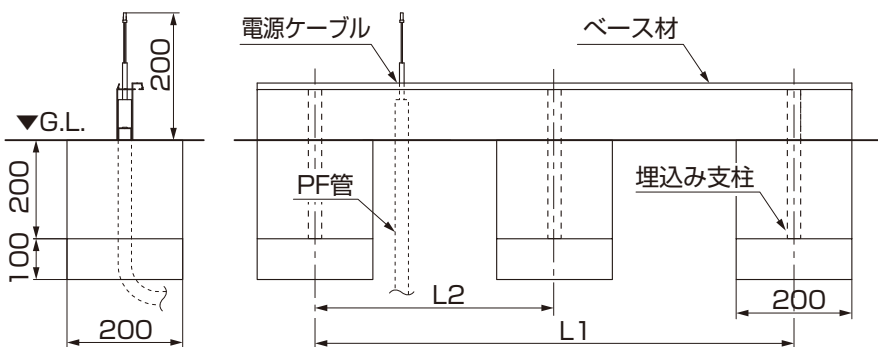
- カバー材取付の前に、ネジの締付けと照明の点灯確認をしてください。
- 配線を挟み込まないようにカバー材を取付けてください。



- ④端部キャップを接着剤で取付けてください。
- ⑤基礎穴を掘って、配光枠の埋込み支柱を基礎に建込んでください。

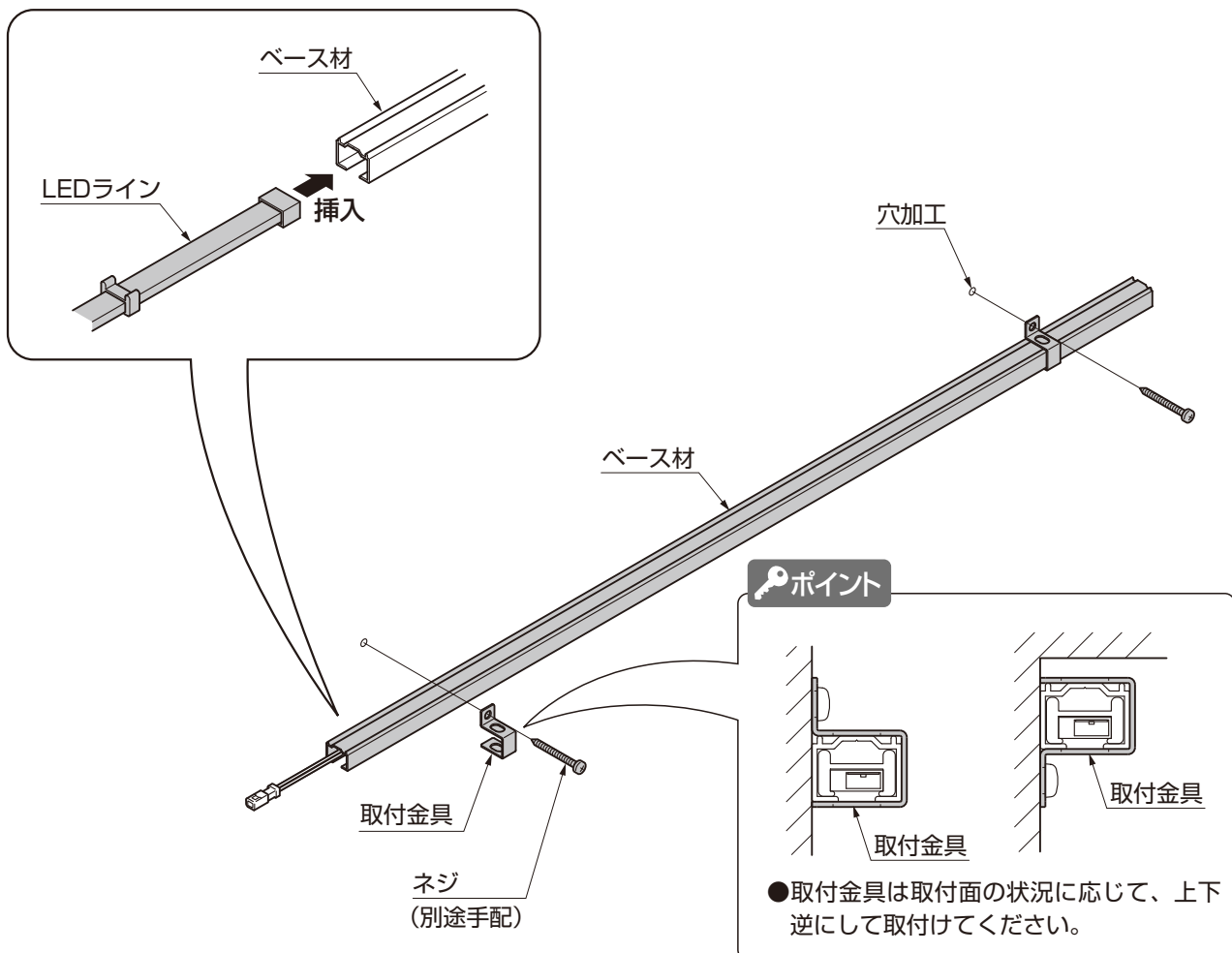
ポイント

- 電源元からの配線配管については「2. 配線と基礎施工」を参照ください。
- PF管に水が入り込まないように養生してください。



6. (つづき)

6-4 LEDベースを施工の場合



⚠ 注意

- ベース材小口面でケガをするおそれがありますので、手を触れることができない場所へ取付けてください。

🔑 ポイント

- 取付ネジ類は下地に合わせて、別途手配してください。

- ①LEDラインをベース材に挿入してください。
- ②取付面に穴加工をしてください。
- ③ベース材を取付面に取付金具とネジで取付けてください。

取説コード

E333

JZZ624189B
201301A_1039
201503C_1039